

〈保護者の皆様には、子どもがどんなことに努力し、成長したのかを記入していただきました。代表的なあらわれを紹介いたします。〉

※お子さんに対する期待もあって、努力してほしいことを書いていただいた方もありましたが、ここでは「努力し、成長したあらわれ」のみ紹介させていただきます。

- ・自分で目標を決めて、その目標に向かっていく姿をたびたび見ました。はじめの頃は大丈夫かな、と不安でしたが、周りの協力のおかげが、努力することができました。
- ・少人数ということで、一人一人が発表できる場があり、勉強、運動、様々な面で目標をもち、取り組んでいました。今は親に言われなくても「〇〇頑張る」という姿勢を見ることができ、成長していると実感できました。競争心もでてきました。
- ・漢字、計算について、日々の宿題、授業について、しっかりやっつけていこうとする思いが伝わり、頑張っている姿をうれしく思います。結果もよいため、本人の自信になっていると思います。
- ・たし算、ひき算カードが毎日の宿題にあり、目標タイム（合格）めざしてがんばることができたと思います。まったくできなかった綱とびが「自慢発表」という目標に向かって練習してできるようになりました。
- ・なわとびを頑張っている姿にうれしく思いました。少しずつ成功していくのが本人もうれしかったようです。二重とびの成功する回数が増え、自信につながっていったと思います。
- ・朝の通学で途中まで先頭を歩くようになり、少しずつ責任感が出てきたと思います。一つ上の目標をもち、あきらめずに努力することが出来ました。結果も大裏ですが、結果よりもあきらめずに頑張ることを目標にしてきました。
- ・運動会の鉄棒など、出来るようになったことは本当に驚きました。
- ・今の学年での自分の役割を理解し、学校内で実行しようと努力している姿が見られるようになりました。
- ・最初の頃より、自分のことは自分でしっかりできるようになってきたと感じます。
- ・運動会の一輪車の練習を本当によく頑張りました。「間に合わないかな」、「本番はどうなっちゃうだろう」と心配していたのは親だけでした。本人は絶対にやる、とあきらめず、何度転んでも粘り強く頑張って出来るようになりました。本番ではとても大きく、たくましく感じられ素晴らしいかったです。
- ・運動会の鉄棒では、時々自分に負けそうになりながら、泣いたり喜んだりして立派にやり遂げました。「自分に勝つ」を目標に自分の弱い心に勝てた喜びは宝になったと思います。
- ・運動会やオペレッタなど、行事や各学校との交流など、自分が発表する場面ではよく練習し、頑張っていたと思います。このような活動を楽しめること、失敗したときでもうまくやっつけていけるようになったことはすごく成長したなと思います。
- ・ステージテストに合格しようと少しずつですが努力しています。すぐには合格できませんが、いずれ合格することを信じて努力することを学んだと思います。
- ・家ではよく話をしてくれます。本を最初の頃よりスラスラ読めるようになってとか、今日のテストはよい点がとれたとか、こんな間違いをしたとか、学校が楽しそうです。
- ・ミニバスの練習を家でやったり、積極的にチーム練習にも参加するようになりました。これまでディフェンスがつくとドリブルで抜くことをあきらめてしまうことがありましたが、自分に自信が出てきたのか、しっかりとゴールをねらってシュートを打つようになりました。
- ・前年度までぼろぼろだった持久走で、少しでも早く走れるように本人なりに努力しようという気持ちが出てきたようです。悔しいという気持ちをもてただけでも成長だと思います。
- ・上級生とのかかわりの中から身につけたのでしょうか。以前はあまり無かった年下の弟や友達に対してもとても優しく接する姿が見られるようになりました。高学年に向けて、下級生に対し優しく接することができるようになりました。
- ・下の学年の子に忘れ物があると、自分が預かり自宅への連絡を入れ、翌日に手渡すなど、親が指示したわけでもないのに、心配りしている姿が成長していると思います。

〈地域の方々からのご意見〉

- ・伊久美小学校は特認校として良くやっていると思います。これから、さらに伊久美の自然環境の良さを生かした学校になることを願っています。文化祭で行われるオペレッタは素晴らしい、毎年、感動をいただいています。
- ・伊久美小文化祭でのコンサート、昨年の楽器の演奏、今年のピアノと歌。本物にふれあう機会が少ない自分には貴重な時間でした。オペレッタは確実に進化していると思います。
- ・前日の雨にも負けず、多くの人達の協力で当日は力いっぱい頑張る子どもの姿見られた運動会。学校と地域が丸となった一日でした。
- ・文化祭での歌声はとても良かったと思います。もう少し役に演じられたらとも思いました。
- ・子どもたちは地域でも家庭でも宝物のように大切に育てられていると感じています。反面、わがままな子が多いのでは、と心配になることもあります。
- ・「人の話を落ち着いて聞く」ということは大切な学習の一步だと思います。話し手の気持ちを考えながら聞くことは聞き手にわかってもらえるように話すことにつながると思います。アピールタイムは良い機会です。
- ・「良いことは良い、悪いことは悪い」と言える、正義感あふれる、互いの良さを認める人間関係づくりを、学級づくりを期待します。